第 2 回 三豊市就学前教育・保育検討委員会 会議録

日 時	令和 6 年 9 月 2 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時
場 所	三豊市危機管理センター301・302会議室
出席者	<p>【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】10名 松井 剛太、常田 美穂、田井 清、白川 久美子、野田 和也、松岡 瑞穂、藤田 佐枝、山本 明代、白川朋果、藤根 直身（敬称略・順不同）</p> <p>【事務局関係職員】9名 健康福祉部 田中部長 保育幼稚園課 橋村課長、森GL、富田、石川、大平 教育委員会事務局 開口部長 学校教育課 内田課長、眞鍋</p>
欠席者	【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】なし
傍聴者	0名
会議次第	<p>1. 委員長あいさつ</p> <p>2. 議事 （1）第1回会議質疑 （2）保護者アンケート結果報告及び課題検討</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p>
会 議 概 要	
開 会	
事務局	<p>本日はご多忙の中、第2回三豊市就学前教育・保育検討委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。只今より会議を始めさせていただきます。出席委員数の報告をさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、委員10名に対して10名のご出席をいただいております。三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立することをご報告させていただきます。</p> <p>なお、本日委員長の松井委員はリモートでのご出席となっております。初めに委員長の松井委員からあいさつをいただきます。</p>
1. 委員長あいさつ	
委員長	<p><あいさつ></p> <p>委員長の松井です。手探りの状態ですすめていくことになると思いますが、ぜひたくさんのご意見をいただいて私の役割がないくらいに進めていけたらありがたいなと思います。リモートで不都合があるかもしれませんが何卒よろしくお願い致します。</p>

事務局	<p><議事録作成></p> <p>今回の会議に関しては、議事録を作成いたします。議事録については、「三豊市付属機関等の会議の公開に関する指針」第10条及び第11条の規定により、原則公開いたしますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また、同指針第3条の規定により、付属機関等の会議は公開するものとなっております。傍聴者を募集したところ、希望はなかったことを併せてご報告いたします。では、議事に入らせていただきます。議事につきましては、三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第5条の規定により、「委員長が会務を総理すること」とされていますので、ここからの進行は、松井委員長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
2.議事	
(1) 第1回会議質疑	
委員長	<p>議事に入らせていただきます。まず第1回会議の質疑回答を事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>第1回会議でご質問いただいた件につきまして回答いたします。</p> <p>曾保幼稚園の実際の定員についてのご質問でした。現在、曾保幼稚園は曾保小学校の1室で保育を行っており、令和6年8月1日時点での園児数は3名です。</p> <p>幼稚園における国の学級編成基準では35人以下となっており、三豊市においては三豊市立幼稚園の管理運営に関する規則で規定されております。原則としましては、1学級の幼児数について、3歳児で20人以下、4歳児及び5歳児で30人以下の人数で学級を編成することとされておりますが、曾保幼稚園では園児数が少ないため、全学年合同でクラスを編成しています。</p> <p>幼稚園では園児1人あたりの面積基準はありませんが、保育所と同じ基準を適用すると、園児1人あたり1.98㎡必要となります。現在使用している部屋の面積は50.4㎡ですが、本棚やコピー機など必要な機材等が入っていますので、実際は面積よりも少ない人数までしか受け入れはできない状況となっています。</p> <p>はっきりとした人数は答えできませんが、現在の人数程度を受入人数としては想定しています。</p>
委員長	<p>ただいま、事務局から回答がありましたが、質問はございませんか。</p> <p>質問がないようですので2つ目の議事に移りたいと思っております。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>

(2) アンケート結果報告及び課題検討	
事務局	<p><アンケート結果報告及び課題検討></p> <p>【資料①】により、以下を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート結果について報告 ・課題について検討 ・3歳以上の適正規模について、3歳児1クラスあたり10人以上15人以下、4～5歳児1クラスあたり10人以上25人以下とする案について委員より意見を伺いたい
委員長	ただいまの説明に関しまして、質問やご意見等ございませんか。
A 委員	<p>3歳を15人にするというのはよいと思うが、場所によってその規模を超える施設はあるのか。例えば三野町に150人規模の保育所があるが4歳5歳の規模が非常に多い状態である。そこでは部屋がすでにない状況。ということは1クラスあたりの人数が25人以上になってくる。三野町の特徴だが、小規模保育施設から保育所へ移っている。幼稚園を選択しなかったのは18時30分まで預かってくれないという意見をよく聞く。町によって25人以上になるところはあり得ると思う。適正規模が25人以内というのは望ましいと考える。しかし部屋がないのが現状であるが、部屋をいまから増やしていくのでない方法で対応していくよう検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>3歳児以上で1クラス25人以上となっている施設としては三野保育所の3歳児が30人、4歳児で25人、5歳児で24人のクラスとなっています。市全体として多いところとなると豊中幼稚園が1学年60人から70人程度の規模感となっている。三野保育所を建設する際には、適正規模・適正配置という考え方のもと、保育所は施設全体で90人程度とし、3歳児以上のクラスは1学年1クラス程度でといったものだと認識している。幼稚園では1学年2クラス程度が適正という考え方で出発したと聞いている。事務局としても三野保育所の人が多いということは課題としてとらえており、逆に幼稚園の利用人数の低下も課題となっている。今後、この課題を解消できるよう検討していけたらと考えている。</p>
委員長	他にはいかがでしょうか。
B 委員	<p>これからの人数制限というところで3歳児10人以上15人以内、4～5歳児が10人以上25人以内というのはいいなと思う。保護者の意見がアンケートに書かれていたが1人1人をしっかりみてほしい、幼稚園は人数が少ないのでしっかりみてもらっているということと、保護者が共働きをしているのでこどもをしっかりみていないので、保育所、幼稚園、こども園でこどもをしっかりみてほしいという意見があったが、保護者は大勢の中で集団的な教育・保育はしてほしいが、1人</p>

	<p>1人の違いがあるのでそれをしっかりみて欲しいと考えている。今のこどもは数年前から3歳にあがるときにおむつをしているこどもが多い。生活習慣をみにつける機会が少ない中でそのことを認識して育てていくほうがいきやすいのかなと思う。私のときは3歳児が20人1クラスだった。その状況では生活習慣をみにつけるということは難しかったが、15人以内という規模感が適切な人数だと思う。4歳5歳になると発達に障がいのあるこどもがいると思うので、そのあたりを鑑みて25人以内をしていると思う。この規模感でよいのではないかなと思う。</p>
委員長	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
C委員	<p>三豊市就学前教育・保育検討委員会が始まったときは公立ばかりだったが、ここ5～6年で民間事業者が増えてきているが、民間保育施設を利用している保護者へはアンケートをしていない。三豊市として統一した計画にするのであれば内容が不十分ではないか。</p>
事務局	<p>民間保育施設を利用している方にアンケートを実施できておらず申し訳ない。総合計画の見直しということで、前期5年間に実施した事業について見直しをかけるという趣旨で公立施設を利用している方へアンケートを実施した。平成29年から民間保育施設を運営していただき三豊市での教育・保育に尽力いただいていることは重々承知している。私立と公立とのすり合わせを少しずつだが行ってきているところだが、三豊市の教育・保育全体を見据えての計画を実施していきたいと考えている。</p>
C委員	<p>最終アンケートの結果を掲載するのであれば三豊市全体のこどもについて行う必要があるのでは。豊中幼稚園と豊中保育所との関係や山本幼稚園と山本保育所との関係のように幼稚園は幼稚園、保育所は保育所と対応が分かれているのでは保護者が戸惑う。0歳からの育ちは非常に大切で、大きい子たちは小さい子たちをみることで成長するし、小さい子たちも大きい子たちをみて成長する。民間の施設を利用している子たちの状況も計画に考慮したものを策定してほしい。</p> <p>統廃合について保護者から厳しい意見もあるが、統廃合のメリットは何かということ保護者へしっかり発信していかないと統廃合のメリットが認識されない。地域からこどもの声が聞こえなくなるという意見がいつも統廃合の話になるとでてくるので、三豊市がなぜ統廃合しなければいけないのか、統廃合する必要性は何なのかということが、適正規模・適正配置ということだと思う。国の配置基準がこのように変わっていく中で、三豊市がどうしていくのかということを持っていないといけない。統廃合するメリットについて市はどう考えているのか。</p>

事務局	<p>統合のメリット・デメリットだが、現状幼稚園や保育所については 1 町に 1 園、1 保育所にしていくということが現在の計画にあった。現在高瀬町については 5 園、三野町については 3 園ある。在園児の状況をみるとさきほど説明した適正規模・適正配置の人数規模からみると少ない人数となっている施設が多くなっている。集団的な教育ができるのかということからまず適正規模を決定し、そこに満たない、たとえば園全体で数人のところで本当に就学前の教育・保育ができるのかということを検討したい。統合については、もちろん地域の方々とも十分話をしながらこどもの教育・保育というところを重視しながらすすめるなければならないと考えている。</p> <p>幼保連携という部分は大事なことでありとらえているが、幼保連携型の施設をつくるとなると一定の規模が必要となってくる。場所の選定から始まり、設計し建設するとなると 5 年 10 年のスパンで計画していく必要がある。そういった点から考えると、幼保連携という理想形に近づけていくよう長期計画を検討しながらも、それまでにかなり少ない人数で運営している施設について、このままにしておいてよいのかという観点から、幼稚園の統合をすすめていくことを考えなければならない。高松市でも幼保連携型こども園をつくるのには時間がかかるのでまずは幼稚園の統合からという方針を出している。三豊市もこの委員会の中で十分お話をさせていただいて、方向性が決まれば計画に乗せていく。このアンケートを通じて様々な意見をいただきながら方向性を決めていけたらと考えている。</p>
委員長	<p>私からも確認しておきたいのですが、この委員会で最優先すべきは「こどもの育ち」だということよろしいでしょうか。そのうえで今回のアンケートについては、施設の配置などで市が運営する公営施設の規模や配置について、アンケートを通じて確認した。「こどもの育ち」のための保育の内容については今後この委員会で審議されていく中で、どうしてこのアンケートの対象者は公立の方たちだけなのかという話になりました。保育の中身については、三豊市にある施設全体での話を今後していくということでしょうか。</p>
事務局	<p>まず今回実施したアンケートの内容については、当初計画をたてた内容がどのように実施できているかという意味をこめて公立でアンケートを実施した。5 年前についてはほとんど公立施設であったので公立で実施した。ただ、ご指摘のあったように今後の計画をたてる上では、民間の施設が増えてきたなかで改めて、民間事業者を利用する保護者へ向けてはアンケートの協力をお願いした上で、意見を集約し、計画に反映していく。</p>
委員長	<p>他にはよろしいでしょうか。</p>

B 委員	<p>なぜ統合するのか、なぜ再配置するのか疑問であった。三豊市就学前教育・保育総合計画では、手厚い保育体制と最善の教育・保育をしていくということが目的にある。手厚い保育とはどういうことなのか、最善の教育・保育とはどういう風にとらえているのか、この点について市の考えを伺いたい。保護者の中では再配置によって地元から保育施設がなくなっていくのではないかと、地域の人とかかわっていたのに地域の人とかかわっていけないのではないかとといった不安がすごくある。その不安をどう拭いていくのか。10年前に適正規模・適正配置の委員でいたときは、「子どもの育ち」ということを考えて、どのくらいの人数だったらこどもを1人1人をしっかりみることができて、のびのびと、楽しい幼稚園や保育所にしていくかということで、人数を決めていくという面があった。三豊市の手厚い保育とはどういう考えか、伺いたい。</p>
事務局	<p>最善の教育・保育、手厚い保育についての三豊市の考え方についてだが、保育士がこどもにかかわっていく中で、国の配置基準も1歳児であれば5人に1人となり、3歳以上についても変わってきた。その配置基準にあわせて保育士を配置していく。しかし三豊市としての課題は、1人とか2人のクラスが発生していることである。クラスには先生を配置する必要がある中で、1人に対して1人の先生がいるという状況は手厚い体制ということになるが、三豊市全体のバランスを考えると、もう少し1クラスのこどもの人数を増やしたほうがよいのではないかと、1人であるよりも5人なり10人という集団的な教育・保育をうけることによってこどもの成長の場となるということが、幼稚園や保育所の役割だと考えている。そういった中で、人数規模が適正となるように統合ということを考えていくことが必要であると考えている。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。今事務局が説明したことが市の考えですが、最善の教育の内容については、まさにこの委員会で議論していくことだと思います。それぞれの先生方が三豊市にとってどういった保育がよいのだろうかというお考えをお持ちだと思うので、今後の委員会の中で議論していければと思います。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
D 委員	<p>アンケート全体として、保護者の意見が伝わってきた。子育ての悩みや不安について相談できる環境が整っているかという設問で、「感じない」「まったく感じない」を選択した保護者がいらっしやるので、課題であると感じた。三豊市として幼稚園や保育所のあり方として、こどもたちを安全・安心にお預かりして、こどもたち自身が明日もきたい、こどもたち同士の育ちあいのなかでこうしてみよう、ああしてみようと考えていけるような育ちあいのあるような幼稚園、保育所を目指していきたいと考える。それに対して、何が必要かといったところだが、適正規模・適正配置の観点から3歳児20人のところを10人から15人に1人という提案があった。2歳児は現在6人に1人だったかと思うが、3歳児は現在17人から18人</p>

	<p>のクラスがあるが担任 1 人でもっているこどもの人数も多いので、年度当初は泣いて甘えたい、1 人 1 人をみてほしいというお子さんがすごく多い。6 人に 1 人で丁寧にみていたところが一気に大きな集団の中に入らる中で、保育所が丁寧にみてくれるけれども生活習慣が身につかなかつたり甘えたいというこどもの思いもあつたりで年度当初については大変なところもある。定員を 20 人から 15 人に引き下げるのは非常にありがたいと感じる。幼稚園の課題としては、さきほどもあつたが 1 人とか 3 人といった人数の中で育ちあいといった部分が各学年ごとに確保できていないクラスもある。当然異年齢とのかかわりあいによる保育ということは考えられていると思うが、育ちあいというところでは先生も悩んでいる。全体に園児数が少ないと保育者数も少なくなっていることから、職員のストレスが保育現場に影響するのでゆとりのある保育者の配置が大事である。統廃合がすすみ施設が集約すると遠くなった地域の方からは、地域からこどもの声が聞こえなくなり寂しくなつたという意見をもらうこともある。統合して一つの施設となつた中でできる地域とのかかわり方について模索している。こどもたちが一番良い人数規模で集まつた中で地域とのかかわりや保護者とのかかわりといった課題について一緒に考えていきたい。今現状複式学級を編成する環境での保育の大変さを感じている先生も多い。この検討委員会において検討していただき、適正配置の中で幼稚園や保育所を運営できれば良いなと感じる。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。適正規模・適正配置の話だけでなく地域とのかかわりであつたりだとかについて、市としてどうするのかというところも議論に含まれて来るのかなと思います。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
E 委員	<p>いくつか課題がでてきたかと思う。地域によってこどもの人数が多いところと少ないところがあつて、少ないところは学年に 1 人 2 人といったところで最善の保育ができていくのかという疑問があるし、多いところは 1 人 1 人しっかりと見ることができているかという問題がある。地域とのかかわりや人数のほかにも職員の環境というところでもこどもの人数に対して先生方を何人つけるのかといったところが保育の質に大きく関係してくるので、そのあたりも課題になってくると思う。それと給食の質や量といったところがアンケート結果で意見がでていたり、土曜保育や 18 時 30 分までの保育は幼稚園のアンケートでも意見が多いというところから、この課題にも人材確保が欠かせないため、職員の環境をどう充実させていくのか、この委員会で議論していけたらと思う。</p> <p>私が気になつた点だが、幼稚園のアンケート結果では、2 歳までは保育所で 3 歳以降は地域の幼稚園でという選択をすることが多かつたということか。</p>
事務局	<p>幼稚園に現在通われている方の回答では、そういうニーズが多かつた。</p>

E 委員	その二一ズの方の割合的にはどの程度か。
事務局	幼稚園の回答では 4 割程度。
E 委員	そのあたりも課題かなと思っている。保護者の中で、どういう考えで小さいときは保育所でよいが、保育所から幼稚園にという流れは、地域や小学校区で幼児期を過ごさせたいという思いなのか、あるいは小さいときはお世話してもらい、教育面は幼稚園という思いなのかといったところが、三豊市の教育・保育全体の質という点では保護者の理解がどういったものなのかというところが課題だと思う。
委員長	ありがとうございました。 事務局からご意見ありますか。
事務局	今回の課題でもある土曜日保育や 18 時 30 分まで預かる体制というところについても、職員の確保が必要になってくる。職員がゆとりをもてば保育の質が向上するということはデータでもでていところである。職員の確保等については、この委員会の中でご意見をいただきながら、計画としてまとめていけたらと思う。
委員長	他にはいかがでしょうか。
F 委員	アンケートの設問でこういう設問があればよかったと思ったのが、自分の家の近くにあってほしいのは「保育所、幼稚園、幼稚園型こども園、幼保連携型こども園のどれか」、これにプラスして私立保育施設してもよいが、そういった設問があればよかったと思った。ほかの設問で施設を選択した理由をきいたものがあったり再配置についての設問があったが、再配置するのであれば保育所が欲しいのかこども園が欲しいのか、先ほど E 委員からもあったが保護者がどういう理由で保育所から幼稚園へ移ったのかわからないということがあったが、近くに保育所や幼稚園しかないからその施設へ行っただけであって、保育所型こども園があればこども園にした方もいると思う。もちろん職員の確保とかこども園に制度移行することが難しいのは理解できるが、母親の本当の希望がどの施設なのかということはこのアンケートからは読み取れない。なぜこういった質問はしなかったのか。
事務局	今回のアンケートの中身については、前期 5 年間で施設の統合等を行った施設についてどのような変化があったか、また総合計画策定時に掲載していた、保育所は各町に公立 1 施設を基本として複数ある場合は民間へ委託していくこと、そして幼稚園については統合してこども園化していくという方針があるが、今回の見直しについては、この計画のベースに沿ったかたちで進めていた。本来であれば保護者目線で希望施設について意見を伺うべきであるが、今回については総合計画に沿ったかたちでアンケートを実施した。今回 F 委員からの質問をいただいたというこ

	<p>とは市において、保護者が実際にどのような環境を望まれているかというダイレクトな話になってくるので、計画を見直す中で今後すすめていく施設の形態はどのような施設がよいかを現在の保護者は望んでいるかという重要な視点かと思う。</p>
委員長	<p>F 委員に伺いますが、もしそういった設問があった場合、どういった施設が選択されると思いますか。全国的に言うと、保育所のニーズは当然高く、家から近い施設のニーズが高くなりますが、三豊市の場合に幼稚園の価値が高ければ幼稚園と回答すると思いますが、どうでしょうか。</p>
F 委員	<p>こども園だと思う。幼稚園も預かりがないという意見が多かったし、こども園に対するアンケートの自由記述欄の回答数が少なかったが、文句のつけようがないから少なかったのではないかと思う。</p>
委員長	<p>幼稚園がさけられているというのは預かりの時間が短いからというのが主な理由でしょうか。</p>
G 委員	<p>アンケート結果をみて、幼稚園がこの要望をどこまできいてもらえるのだろうか。18時30分まで保育してほしい、土曜日でも保育してほしい、働く親としてはありがたいが、この希望を書いたからと言ってどこまで取り入れてもらえるんだろうかということがまずわからない。結果をみていると、こども園ばかりでいいのではない。しかし、運営上いろいろな規則があり、ここまではゆずれるけれどもここからは無理ですというものがあるからこそ、現在まで幼稚園や保育所が残り、また新しくこども園ができています。たとえば統合した場合、親が送っていけなくなる、そうすると学校みたいにスクールバスのようなものを出してくれるのか。事務局から土曜日保育を行っているところもあるので、施設をあっせんはしていると説明があったが、遠いとお迎えの時間がかかってしまう。そうするとやはり地元のほうがいい。通っているこどもたちにとってみると、園の施設の老朽化のほうが、こどもたちにとっては感じるものがあると思う。幼稚園だけでなく小学校、中学校にあがるほど、少子化で統合という問題がずっと続いていて、財田も中学校が全校生徒70人、さあどうするとなったときに、統合になるなら統合になってくれたほうがいい。耐震性があって施設がきっちりしていて、いつ統合するかわからないことによって施設が改修されない、そうすると臭いのするトイレといった古い施設の校舎に通わなければならないこっちの身にもなってほしい。全然話がすすまないの、アンケートをきいて意見を出してもどこまでが幼稚園・保育所・こども園ができることでどこまでがゆずれないところなのかという話が深まる場がもっとあったらいいのにと感じる。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。率直な意見をいただきましたが、この委員会がその場になればと思います。ほかにはいかがでしょうか。</p>

H 委員	<p>保護者のニーズが多様化していると感じる。さきほどもあったが、集団での教育、育ちをみてほしいんだけど 1 人 1 人も大切にみてほしい。これは教育界、こどもの年齢が下がれば下がるほどニーズが大きいのかなと思う。小学校 1 年生の話を色々な小学校からきくが、幼稚園、保育所からあがってきたときにトイレの仕方、用の足し方から子どもたちに教えないといけない。ここにトイレがあるよ、ここでトイレをしてね、ではなくそれ以上のことを小学校で教えなければならない現実もある。そういうなご家庭からすれば個を大事にして欲しい。曾保幼稚園の子どもたち、保護者の方をみていると、1 人 1 人を大切にみてほしいという要望の保護者ばかりである。そういうところは人数が少ないんだけど、そういうところも大切にしなければいけないのであれば、そういう園も残していくべきだと思う。統合した後、10 人から 15 人とか 30 人とかでみていくのであれば、そういうシステムにすればいいのではないかな。20 人とか 25 人にしてもそこに先生とか支援員を入れていって、担任は 1 人なんだけども、実質大人がみているこどもの数は 1 人あたり 5、6 人とか 7、8 人とか。そういうシステムを作っていくことがこれから必要になってくるのかなと思う。幼稚園や保育所が実際にどうしているのかわからないけれども、そういう風にしていかなくてはいけないのかなと思う。しかし、実際問題人手不足である。小学校でも先生が足りない。そういう中で、保育所、幼稚園がみてもらえるのかというのはある。そのため、なかなか進まないのかなという懸念も持っている。あともうひとつ、こどもがいなくなると、ほかの学校へ移ってしまうと、保護者もそっちへ移る。豊中小学校ができるようになったら、その周辺に住宅が次々と建っている状況をみればわかる。あの状態に曾保がなると、曾保の産業はつぶれてしまう。地域との関係を考えてときに、10 年 20 年先を考えたときに、どうなっていくのかなというのは、保護者やその上の世代の心配事の 1 つだと思う。豊中は面積も広くなく便利だが、曾保は三方山に囲まれている。仁尾へ行くのも高室へ行くのも高瀬へ行くのもとても大変。ということは、あそこで幼稚園がなくなると行きたい人が行けなくなると考えたときに、保護者は出て行ってしまおう。仁尾小学校なり比地小学校なりに友達ができってしまうと、そちらの小学校に行き、そのまま中学校へ行くようになり、人口の流出が進んでいくというのが心配事だ。そういったところも市の政策としてどういう考えをもって進めていくのかというところまで考えていただきたい。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。事務局から何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>委員からご指摘があった通り、曾保地区は人口が少なくなっており、幼稚園についても 3 人の幼児をみている状況。学校が中心となって町ができているという考え方もあれば町ができているところに学校ができているという考え方もある。政策的なところについては、小学校についても統合の話が仁尾だけでなく他の地域でも検討するようになっている。それにあわせて、小学校と幼稚園の連携を考えると幼稚園もそれにあわせて人数が少ないところについては、ある程度人数規模の集団化をで</p>

	<p>きるようなかたちをとり、保育士も集まって指導していくことが保育の質が上がっていくのではないかと考える。逆にそういったことで地域の衰退化とか人口が減っていくということも表裏一体の関係であると思う。最終的に方向性というのはみなさんで話し合った計画の中ですすめていけたらと考えている。どれが正解というのではないと思うが、就学前のこどもたちが良い方向へいけるようにみなさんからお知恵をいただけたらと事務局としては考えている。</p>
委員長	<p>他にはいかがでしょうか</p>
I 委員	<p>山本幼稚園と山本保育所は隣同士だが、山本幼稚園はこども園なので、土曜日も開いているし山本保育所と保育時間が同じ。しかし、同じような施設立地の豊中幼稚園も 18 時 30 分まで預かりをしていたり土曜日も開いていれば、幼稚園のアンケート結果は違ったと思う。</p>
委員長	<p>他にございますでしょうか。 なければ以上で議事を終わります。 事務局へお返しいたします。</p>
<p>3. その他</p>	
事務局	<p>・次回の会議は 10 月 28 日(月)の 13 時 30 分から行いたい但委員のみなさまのご都合はいかがか。</p>
事務局 (部長)	<p>閉会にあたって、健康福祉部長の田中より、挨拶申し上げます。 (あいさつ)</p>
<p>閉 会</p>	
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、本日の委員会を終了させていただきます。 本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。</p>